

遊びは世界を平和にする

移 動式あそび場全国ネットワーク代表として活動している星野さん。もともと子どもや自然体験が好きだったことから、高校時代に子どもキャンプなどのボランティア活動を開始。東京に上京してから、生まれ育った環境との違いに衝撃を受けたそう。「遊びは室内中心で公園には禁止と書かれた看板ばかり。遊びの環境や地域のつながりの希薄さがくげんとした」と話します。学生時代にNPO団体を設立し、地域イベントや子ども参加のまちづくりなど本格的にボランティア活動をしてきました。

2008年には、日本初の「移動式あそび場」を作り、少人数から数万人規模のイベントに参画し幅広く活動。中でも一番印象に残っていることは、東日本大震災での復興支援活動だそう。「震災のショックで食事や入浴のときなど片時も親の手を離さなかった子どもが、親の手を離して夢中で遊びだしました。遊びは、子どもを自由に、世界を平和にする力があると強く確信した」と真剣なまなざしで語る星野さんは、遊び道具を積み込んだ車いすプレーカーとともに、遊び溢れる社会をつくるため全国各地を駆け回っています。



移動式あそび場全国ネットワーク代表

星野 諭さん(東平井)

Profile

1978年新潟県生まれ。2021年に移動式あそび場全国ネットワークを発足し、大都市部や被災地など全国で遊び場やイベント、防災活動をしている。

知って得する♪

耳より情報

指さしで意思疎通を図る
「災害時用コミュニケーションボード」

各種団体の協力の下、「災害時用コミュニケーションボード」を作成しました。ボードに記載されているイラストや文字を指さすことで視覚的に意思疎通が図れ、言語によるコミュニケーションが困難な人(障がいのある人や高齢者、外国の人など)が災害時の避難所などで支援が受けやすくなります。また、ベトナム語・中国語・英語にも対応しています。

いざという時はこのボードを活用し、円滑な避難所生活が送れるように皆さんで協力しましょう。

問い合わせ 地域安全課(☎227444)



表



裏